

平成26年大磯町議会

6月定例会一般質問（6月10日・11日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>2番 二宮加寿子議員 (55分) 9:05～10:00</p>	<p>1. 地球温暖化対策について 2011年3月の原発事故以降、地球温暖化対策が進んでいない。国では2020年に、1990年比25%排出削減という国際目標を撤回し、31%に修正して地球温暖化対策強化に取り組むとの発表があった。</p> <p>(1) 現在の町の状況は。 (2) 公共施設等のミストシャワーの導入はいかがか。 (3) 学校施設等の芝生化はどの程度進めていこうと考えているか。 (4) 地域ボランティア導入等で、温暖化対策はいかがか。 (5) ゲリラ豪雨に対する対応は。 (6) 家庭での日常生活から温室効果ガスの排出量は17%増加傾向である。温暖化を大幅に抑えることができるエネファームの導入はいかがか。</p> <p>2. あんしん賃貸支援事業の対策は 若者、高齢者、障がい者、外国人、子育て世帯の入居を受け入れる居住支援サービスの提供で、空き家や店舗付住宅の空き室を利用した住まい確保を進め、定住促進により人口減少の歯止めとし、支え合いのまちづくりには、</p> <p>(1) 居住の安定確保の考えは。 (2) 一緒に住むこと（集住）で、地域コミュニティの再生は。 (3) 近居対策で、高齢者の生きがいや交流のまちづくりには、</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>2</p> <p>15番 清水弘子議員 (60分) 10:10～11:10</p>	<p>1. 小滝海岸松林地区における風致地区等の指定について 都市計画原案及び条例素案について、現在の進捗状況を問う。</p> <p>(1) 風致地区と大磯町風致地区条例。 (2) 特別緑地保全地区。 (3) 特別用途地区と大磯町特別用途地区建築条例。</p> <p>2. 認知症対応をどのように進めるか NHKテレビ特集で、認知症の行方不明者は1万人との放映に大きな衝撃を受けた。また、896自治体消滅の恐れなど、超高齢化の波にまっただけではない。国において2013年「認知症施策推進5カ年計画（オレンジプラン）」がスタートしている。</p> <p>大磯町では、オレンジプランの位置づけをどのように進めていくか。 第6期大磯町高齢者福祉計画（介護保険事業）では、どのように取り入れられるか。第5期での課題はどのようなものか。</p> <p>3. 葬儀場建設の中止を 工事が始まり、多くの町民の方から観光の町をめざす嶋立庵の隣に建設されるのは何とかならないか。町は買収の交渉は結局どうなったのかと聞かれる。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

	<p>町長の交渉は着工に至るまでどのように続いたか。工事の進行について、事業者が町民との約束をきちんと守るよう指導しているか。守らない場合、建設中止や計画縮小ができないか。</p> <p>4. 町道幹 28 号線歩道整備について 幹 28 号線（ヤオマサ前から大磯病院入口）までの歩道整備が進まないのはなぜか。 また、周辺の公共下水道整備計画はどのようになっているか。</p>	町 長
<p>3</p> <p>1 1 番 三澤 龍夫議員 (40 分) 11:20~12:00</p>	<p>1. 災害時のペットの同行避難について 災害発生時の避難所運営については、様々な問題があると思うが、先の大震災で大きな課題として浮かび上がったペットの同行避難について問う。</p> <p>2. まちづくりの取り組みについて 若者の定着するまちづくりの試みと大磯ブランドの熟成のために、毎月第 3 日曜日に行われる大磯市と連動した取り組みについての提案と町の考えを問う。</p>	町 長 町 長
<p>4</p> <p>5 番 坂田よう子議員 (60 分) 13:00~14:00</p>	<p>1. 次世代を繋ぐ定住促進政策に関する姿勢を問う 『自治体 5 割 30 年間で 20~30 代 女性半減 地域「消滅』とのセンセーショナルな試算が「日本創成会議」分科会より発表された。県内推計では、9 自治体、1 市 7 町 1 村であり、本町の記載はなかったものの危機感は大いに高まった。以前より、少子化対策に関する提言を繰り返してきたが、さらに踏み込み、若い世代の定住促進政策を最重点で取り組んで行かなければならないと考える。町の所信を問う。</p> <p>(1) 本町における将来人口の推計について。 (2) 施政方針の「福祉」「スポーツ」「食文化」「教育」と、経済活性である「観光」の狙いと定住促進政策との連携について。 (3) 大磯町子ども・子育て支援計画策定について。 (4) 国の補助制度である「特定地域再生事業」の活用と目的について。 (5) 総合計画後期基本計画策定における定住促進政策の重要性について。</p> <p>2. 大磯町新たな観光の核づくり事業に関する実現性を問う 町は、国の補助金を活用した「大磯町における景観・観光資源の再生・利活用検討調査」に関する事業報告会を開催し、その結論として、官民連携組織の設立・エリアマネジメント推進が示された。 また、拠点施設整備として、旧池田邸、旧滄浪閣、大磯港を具体的に掲げた。 新たな観光の核づくり事業は、3つの舞台（大磯丘陵・邸園文化交流園・こゆるぎの浜）それぞれの課題解決を行いながら、『保養観光』という品格を供えた大磯町のまちづくりへの挑戦でもある。さらには、「日本一の保養地は、それは日本一住みたい町」と若い世代の憧れを抱いた報告書もある。 新たな観光の核づくり事業に関する実現性を問う。</p>	町 長 教育長 町 長

<p>5</p> <p>8番 高橋富美子議員 (60分) 14:20～15:20</p>	<p>1. 大磯中学校3号館の改修工事に伴う、エレベーター設置の進捗状況は</p> <p>(1) 平成24年度12月定例会一般質問での答弁「26年度に調査、27年度に実施設計、28年度に大規模改修」は着実に進んでいるか。</p> <p>(2) 平成24年4月に「特別支援を考える会」より提出された「大磯中学校のエレベーター設置を求める要望書」に対し、町長はバリアフリー化は必要とし、設置を検討すると答えているが。</p> <p>2. 観光の核におけるブルーパークの中心となる漁港の開発振興は</p> <p>(1) 大磯漁港を利用している漁師や魚屋、定置網の現状はどうか。</p> <p>(2) 平成26年度の漁業振興運営事業費は漁業振興に寄与できる内容であるか。</p> <p>(3) かつての漁業の町大磯をどのように開発振興させていくのか。</p> <p>3. 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金に係る職員体制は</p> <p>(1) 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金に係る事務量はかなりあると思われるが、処理のプロセスは。</p> <p>(2) 残業の多い福祉課、子育て支援課で更なる仕事量となる。臨時職員配置のプログラムはできているのか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p> <p>町長 教育長</p>
<p>6</p> <p>10番 竹内恵美子議員 (55分) 15:40～16:35</p>	<p>1. 新たな観光の核づくり事業について</p> <p>大磯町が平成25年2月に「新たな観光の核づくり事業」の認定を受け、大磯町新たな観光の核づくり事業報告会が5月17日にあり、町の活性化への取り組みを進めている。</p> <p>(1) 観光の核づくり事業を進めている中、大磯町の観光事業として、いろいろ取り組んでいるが、国府地区にある1300年以上の歴史ある「国府祭(こうのまち)」を観光の活用または観光客の誘致に全国的にPRしたらよいのではないかと。</p> <p>(2) 大磯町には「大磯八景」という地域の優れた8つの風景を選んでいる。合併60周年記念として「平成国府八景」というものを観光の一助として作製する考えはないか。</p> <p>2. 超高齢化社会を迎えた大磯町の現状について</p> <p>超高齢化社会を迎え、老々介護がますます増えていくといわれている。介護離職者は年間約10万人もいるそうで、また、働きながら家族を介護する人が291万人、介護休業の期間を延長している人も多く問題視されている。</p> <p>(1) 大磯町の65歳から74歳まで(前期高齢者)、75歳以上(後期高齢者)の人数と認定率は。</p> <p>特に、認知症対策について、大磯町への相談、地域包括支援センター等への相談はどのくらいあるのか。</p> <p>(2) 介護休業法は、要介護状態の家族1人につき、通算93日までの介護休業と年間5日の介護休暇を認めている。また、短時間、フレックス勤務などの支援策を講ずるとしている。庁内での取得はどのくらいか。</p> <p>(3) 今後の課題と町としての方向性は。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>7</p> <p>7番 吉川 重雄議員 (80分) 9:00~10:20</p>	<p>1. 問題が表面化した大磯恒道会、町は今後も傍観者でいくのか</p> <p>社会的共通資本ということで、非営利・非課税で運営されている社会福祉法人「大磯恒道会」で起きている裁判の判決が5月13日に出た。今まで、町はこの問題について、「状況は把握している。町民に不自由があってはならないので、関心を持っていきたい」と言ってきた。今回の裁判の結果が出され、問題点が一部見えてきたと思う。</p> <p>町として、今後この問題にどのように対応していくつもりか。これまでのように、恒道会の「所轄庁」は神奈川県だからと言って、傍観していくつもりなのか。社会福祉の理念と、町長が今まで述べてきた「こころとふれあう社会福祉の充実」に黄色信号が出てきたのではないかとも思える。今、町民の不安を払拭することが求められていると思うが、町長としての見解と対応策を伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>8</p> <p>3番 渡辺 順子議員 (70分) 10:40~11:50</p>	<p>1. 中学校給食の実施について</p> <p>教育委員会では中学校給食を27年度中に開始したいと考えているようだが、懇話会が出した結論やアンケートの結果と全く違う方向になっている。生徒や保護者の意見を尊重し、納得してもらえる結論を導き出すべきではないか。</p> <p>(1) 生徒全員の給食実施について。 (2) 小学校給食との関連について。</p> <p>2. 駅前駐輪場の設計変更を求める</p> <p>駅前駐輪場建設は参画と協働を謳いながら、町民の提案は全く受け入れられないばかりか、駅前拡幅整備などが町民に知らされないうちに進んでいる。とても自治基本条例に則り進められたとは思えない。すべての情報を町民に提供し、将来に禍根を残さないような設計にすべきではないか。</p> <p>(1) 参画と協働について。 (2) 町民の権利について。 (3) 町政運営の基本について。 (4) 住民参加条例の必要性について。</p> <p>3. 町民活動の支援について</p> <p>子育て世代から元気な高齢者まで幅広い世代の活動を支援する町の役割が求められている。町には町民が自由に使える公民館的な役割を果たす施設もなく、地域会館は自由に使えない場合もあると聞いている。</p> <p>(1) 町民の活動支援に対する町の考えはどうか。 (2) 公募型補助金は平成25年4月に交付規則が変更されたが、その内容は。 (3) 活動の拠点整備についての考え方は。</p>	<p>町長 教育長 町長 町長</p>
<p>9</p> <p>6番 片野 哲生議員 (45分) 13:00~13:45</p>	<p>1. 町長は任期中の公約成果をどのように自己評価しているか</p> <p>町長の任期は今年の12月14日までとなる。就任から今日まで様々な事務事業を提案してきたが、全体として提案事務事業の成果の割合をどのように捉え、自己評価しているか。</p>	<p>町長</p>

	<p>2. 総合計画におけるまちの将来像をどのように考え、まちづくりを進めているか</p> <p>大磯町総合計画では「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」を町の将来像として掲げ、昭和43年にスタートしてから約50年になろうとしているが、将来像を現在に照らしたときに、町の環境、少子高齢化、人口減少、税収下降など、社会情勢が大きく変化している。</p> <p>このような状況の中、「住みよい大磯」を構築するために、「新たな観光の核づくり」を進めることが町民にとって住みよい大磯のまちづくりとなるのか。</p> <p>3. 町の木「さざんか」の公共施設等への植栽の考えはどうか</p> <p>大磯町では、町の木として、昭和50年に「くろまつ」と「さざんか」を制定している。このうち、低木である「さざんか」を公共施設等に植栽して町の木のピーアールをすべきであると考えているが、町はどのように考えているか。</p>	町 長
<p>10 12番 関 威國議員 (55分) 13:55~14:50</p>	<p>1. 町は住民との報・連・相ができていますか</p> <p>報・連・相は「報告」「連絡」「相談」を分かりやすくハウレン草と掛けた略語で、主としてビジネスにおいて使われている。指示・命令されたことについて進行状況、問題点、結果を知らせることで仕事を締めくくり、次のステップの始めとする。業務の流れを円滑にする潤滑油であり、作業の方向性の確認と効率的に作業を進めることへのアドバイス・指示・命令が得られ、相手の立場と考え方を知り、チームワークを向上させることができ、仕事を効率的に進める道具である。</p> <p>町は住民との報・連・相がうまくできているか、次の項目について質問する。</p> <p>(1) 町は報・連・相の教育をしているか。 (2) 住民との報・連・相はできているか。 (3) すぐやる課を廃止し係にしたが、住民の要望に速やかに応えているか。</p> <p>2. AEDの講習会や管理を定期的に行い、AEDは誰でも、いつでも、使えるようになっているか</p> <p>心臓が止まった際に、電気ショックを与えて元に戻す医療機器「AED」が、一般の人の使用が認められてから、今年でちょうど10年になる。しかし、思うように使われていないことが、総務省のまとめやテレビ報道で明らかになった。</p> <p>大磯町の公共施設などに「AED」を増設したのは、中崎町長の初仕事と記憶している。定期的に心肺蘇生法講習会や定期点検を行い、誰でも、いつでも、使える状態になっているか、次の項目について質問する。</p> <p>(1) 公共施設等への設置状況と総費用は。 (2) 講習会や管理はどのように実施して使えるようにしているか。 (3) 大磯町の課題と対策は。</p>	町 長

<p>1 1 1 3 番 鈴木 京子議員 (80 分) 15:10～16:30</p>	<p>1. 大磯町で安心して暮らすことのできる介護・福祉・医療とは 第6期大磯町高齢者保健福祉計画・介護保険計画及び関連する在宅医療推進等は、町民ニーズに応える内容になるのか。また、深刻と思われる大磯恒道会の運営状況について、町が取り組むことがあるのではないか。</p> <p>2. 建設諸問題について見解を問う (1) ㈱サンライフの庁舎敷地使用要請について。 (2) 駅山側の5階建てマンション「ライフレビュー」について。 (3) 大磯駅前駐輪場について。</p> <p>3. 働きやすい町の職場環境をどうつくるか 消防のみならず、早期退職者が増えているのではないかと。職員の意見をいかに、また疑問に答えられる風通しの良い職場環境づくりを、検証も含め問う。</p> <p>4. 将来への投資の考え方は 中学校給食の自校方式はお金がないとデリバリー方式にしておきながら、駐輪場には5億円、観光事業にも町の出資が報告書に記載されている。町民の意識とかけ離れているのではないかと。将来への投資の考え方を問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
---	---	---

1 1 名 2 8 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。